

なるほど！ザ・ファンド



Q & A

Vol.263



物価上昇による「お金の価値の目減り」に対処する方法は？



対処方法の一つに資産運用があります。お金の価値を維持するために、金融資産に占める「運用資産の割合」と「必要な利回り」を考えていきましょう。

- ◆ 仮に、物価が継続的に年2%上昇する中、何も対処しなかった場合には、実質的なお金の価値は減少します。こうしたお金の価値の減少への対処方法の一つとして資産運用があります。ただし、金融資産に占める「運用資産の割合」によって、お金の価値を維持するための「年間収益率（必要な利回り）」は変わってきますので、「運用資産の割合」を考えていくことが重要です。

物価が年2%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

(表内の単位：万円)

< 1,000万円に占める運用資産の割合（横軸）>

△運用資産の年間収益率（縦軸）	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
	1%	919	923	924	926	929	936	942	949
2%	919	927	931	936	944	960	976	992	1,000
3%	919	932	939	946	959	985	1,011	1,037	1,050
4%	919	938	947	956	974	1,011	1,047	1,084	1,102
5%	919	943	955	967	990	1,038	1,085	1,132	1,156
6%	919	949	963	978	1,007	1,066	1,124	1,183	1,212
7%	919	954	972	990	1,025	1,095	1,165	1,235	1,270
9%	919	967	991	1,014	1,062	1,156	1,251	1,346	1,394
11%	919	980	1,010	1,041	1,101	1,223	1,344	1,466	1,526
13%	919	994	1,032	1,069	1,144	1,294	1,444	1,594	1,669
15%	919	1,010	1,055	1,100	1,190	1,371	1,551	1,732	1,822

運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約919万円に！

300万円（30%）を運用した場合、約6%以上の年間収益率で運用しないと、お金の価値は減少してしまう

(注) 上記は年2%の物価上昇が5年間続くと仮定。また、運用資産はそれぞれの収益率で運用し、運用資産以外は2025年12月19日に公表された国内大手銀行（みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行）3行の変更後の円普通預金利の利率0.3%として算出した場合のシミュレーションです。

(出所) 各銀行の公表データ等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

*上記は一定の前提条件に基づき試算したものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページの「重要な注意事項」を必ずご確認ください



物価が年3%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

(表内の単位：万円)

< 1,000万円に占める運用資産の割合（横軸）>

	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
1%	876	879	880	882	885	891	897	904	907
2%	876	883	887	891	899	914	929	945	952
3%	876	888	894	901	913	938	963	988	1,000
4%	876	893	902	910	928	963	997	1,032	1,049
5%	876	898	909	921	943	988	1,033	1,078	1,101
6%	876	903	917	931	959	1,015	1,071	1,126	1,154
7%	876	909	926	942	976	1,043	1,110	1,176	1,210
9%	876	921	943	966	1,011	1,101	1,192	1,282	1,327
11%	876	933	962	991	1,049	1,165	1,280	1,396	1,454
13%	876	947	983	1,018	1,090	1,232	1,375	1,518	1,589
15%	876	962	1,005	1,048	1,133	1,305	1,477	1,649	1,735

↓
運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約876万円に！

↓
500万円（50%）を運用した場合、約6%以上の年間收益率で運用しないと、お金の価値は減少してしまう

物価が年5%ずつ上昇した場合、5年後の1,000万円の価値は？

(表内の単位：万円)

< 1,000万円に占める運用資産の割合（横軸）>

	0%	10%	15%	20%	30%	50%	70%	90%	100%
1%	795	798	800	801	804	809	815	821	823
2%	795	802	806	809	816	830	844	858	865
3%	795	807	812	818	829	852	874	897	908
4%	795	811	819	827	843	874	906	937	953
5%	795	816	826	836	857	898	939	980	1,000
6%	795	821	833	846	871	922	973	1,023	1,049
7%	795	826	841	856	886	947	1,008	1,069	1,099
9%	795	836	857	877	918	1,000	1,082	1,165	1,206
11%	795	848	874	900	953	1,058	1,163	1,268	1,320
13%	795	860	893	925	990	1,119	1,249	1,379	1,444
15%	795	873	912	951	1,030	1,186	1,342	1,498	1,576

↓
運用しない場合、5年後の1,000万円の価値は約795万円に！

↓
900万円（90%）を運用した場合、約6%以上の年間收益率で運用しないと、お金の価値は減少してしまう

(注) 上記は年3%、年5%の物価上昇が5年間続くと仮定。また、運用資産はそれぞれの收益率で運用し、運用資産以外は2025年12月19日に公表された国内大手銀行（みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行）3行の変更後の円普通預金利の利率0.3%として算出した場合のシミュレーションです。

(出所) 各銀行の公表データ等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

*上記は一定の前提条件に基づき試算したものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。



【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。